

「Overseas Fieldwork in タイ 2023」 募集要項

1. 趣 旨

九州大学教育学部のアジア圏を中心とする国際的研究と教育の実績を活用し、文化的多様性への感受性と歴史的社会的文脈の理解力を育み、アジア教育のエキスパート（教師、教育行政官、研究者）の養成が、本取組による人材養成像である。

2. 応募資格、募集人数

九州大学教育学部の正規課程の学生で、アジア教育に関心があるもの。7-8名程度を募集する。

3. 派遣先大学及び派遣先機関

【タイ・バンコク】私立ランシット大学教養学部、在タイ日本大使館（交渉中）、国際交流基金バンコク日本文化センター、日本学術振興会バンコク研究連絡センター、ガオ会（バンコク在住の九大出身者の会）

【タイ・ナコンシタマラート】柳川高等学校附属タイ中学校

4. 日 程

2月13日(火)-2月22日(火) 8泊9日

5. スケジュールと研修内容（予定）

2/13(火) 福岡→バンコク（バンコク泊）

2/14(水) 【午前】国際交流基金バンコク日本文化センター訪問（予定）

【午後】日本学術振興会バンコク研究連絡センター訪問（予定）（バンコク泊）

国際交流基金では、日本から派遣されて現地勤務する方からキャリアに関する話をお聞きします。

日本学術振興会では、九州大学から派遣されている職員の方からキャリアに関する話をお聞きします。

2/15(木) 【午前】在タイ日本大使館訪問（交渉中）（バンコク泊）

大使館では日本から派遣されている文部科学省職員の方からキャリアに関する話をお聞きします。

アポイントメントの状況により予定が前後します。

2/16(金) 【午前・午後】私立ランシット大学教養学部との学生交流（バンコク泊）

ランシット大学はタイのトップの私立大学です。教養学部の英語と日本語を専攻している学生と交流します。（バンコク泊）

2/17(土) 【午前・午後】私立ランシット大学教養学部との学生交流（バンコク泊）

ランシット大学の学生とフリータイムで市内観光をします。

2/18(日) バンコク→ナコンシタマラートへ移動（ナコンシタマラート泊）

2/19(月) 【午前・午後】柳川高等学校タイ中学校で日本式教育を見学（ナコンシタマラート泊）

柳川高等学校附属タイ中学校は、柳川高等学校が現地に作った日本式教育学校です。

同校にて、今回参加する学生に日本語講義を実施していただきます。

2/20(火) 【午前・午後】柳川高等学校タイ中学校で日本式教育を見学（ナコンシタマラート泊）

（ナコンシタマラートで柳川タイ中学の生徒の家にホームステイ）

2/21(水) ナコンシタマラート→バンコク→福岡（2/22 早朝福岡帰着）

6. 参加費（自己負担内容）

交通費（航空券・バス代）・宿泊費等は、18万円程度を想定（支払いは実費となります。内訳は航空券12万

円程度、宿泊費4万円程度、交通費ほか2万円程度。食費小遣いは除く)。

その他、必要経費は自己負担。(例：海外旅行保険(※1)、パスポート取得料金(未取得の場合)、飲食費等。)

- ※1 海外旅行保険として、学研災付帯海外総合保険(付帯海学)に加入すること。派遣が決定した者は、九州大学生協同組合にて加入手続きを行うこと。

7. 奨学金について

日本学生支援機構(JASSO)の奨学金(7万円)5名、九州大学基金海外留学渡航支援(6万円)2名の計7名の奨学金を確保しております。選考に当たっては、国際コースの学生を優先し、成績及び提出された志望理由書により判断します。

8. 申請の方法と期限

申請期間：10月25日(水)から11月15日(水)17時

提出書類：(1)参加申請書

(2)志望理由書

(3)海外渡航届

提出締切：11月15日(水)17時

提出先：人文社会科学系事務部学務課(教育学部担当)窓口

※申請する前に、申請の意向を指導教員(1,2年生は学年担任)に必ず伝えること。

9. 選考

書類選考の上、派遣候補者を決定する。なお、必要に応じて面接をする場合がある。なお、応募者が多数の場合は、パスポートを持っている学生(もし、持っていない場合は、可及的速やかに取得を約束できる者を優先する)、事前学習のすべてに参加可能な学生を優先する場合がある。選考は、「Overseas Fieldwork in タイ」担当教員にて行い、選考結果の発表は、11月22日(水)までに当該学生にメールで通知する。

10. 事前学習+事前課題

本プログラムに参加予定の学生は事前学習(11月29日(水)6限、1月10日(水)6限)への参加を義務付ける。この事前学習に参加できない学生は、本プログラムには申請できない。また、別日(試験期間後を予定)に1日柳川高校国際科(2月7日 or 9日のいずれかを予定)に見学に行く。事前学習については、グループ作業(英語や日本語での複数スライド作成を含む)等時間外の作業も多いことを十分に留意して応募すること。事前学習の詳細については別途指示を与える。

11. その他、単位認定など

本研修は「Overseas Fieldwork I」として単位認定を行う。1年生が参加した場合の単位認定はないものとする。

12. 問い合わせ先

不明な点があれば、問い合わせください。

木村拓也 教授(教育学部 教育社会計画学講座 教育社会学研究室)

kimura.takuya.329@m.kyushu-u.ac.jp

令和5年10月25日

保護者各位

「Overseas Fieldwork in タイ」における本学学生の
短期研修についてのご理解へのお願い

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私たち九州大学教育学部では、本学の国際化の計画に基づき、教育学部が持つ多様なアジアとのネットワークを活用しながら、「Overseas Fieldwork in タイ」を実施することになりました。アジア圏を中心とする国際的研究と教育の実績を活用し、文化的多様性への感受性と歴史的社会的文脈の理解力を育み、アジア教育のエキスパート(教師、教育行政官、研究者)の養成に基づく取り組みとなります。

国際コース設置以降の授業科目化を目指し、今年度も、特に、海外の教育事情を学ぶために、タイへの短期研修を企画しました。添付の募集要項にありますように、2月13日(火)から2月22日(木)までの8泊9日でタイを訪問し、タイ私立ランシット大学、柳川高等学校附属タイ中学、日本学術振興会バンコク研究連絡センター、国際交流基金バンコク日本文化センター、在タイ日本大使館(予定)、ガオ会(バンコク在住の九州大学同窓会)のご協力を得まして、学生は、タイの教育実践について勉強、見学し、問題意識をより焦点化させることとなります。特に、現地滞在している文部科学省職員、独立行政法人職員、国立大学法人職員の方ともお話しする機会を設け、キャリア教育にも資する設計としております。アジアという地域に赴くことで、アジア文化という鏡を通して生成する「眼差し」が自身に向けられる時、各々のアイデンティティの何が変容し、何が変容しないのか、体験する貴重な機会になると考えられます。また、日本語を学ぶ生徒がいる柳川高等学校附属タイ中学では、実際に、本学教員による講義と演習が行われます。その演習には、ティーチング・アシスタントとして参加頂くこととなります。

保護者の皆様におかれましてはご心配のことと存じますが、短期海外フィールドワーク研修の趣旨にご理解をいただけますようお願い申し上げます。本研修によりタイの教育関係者・児童・生徒・大学生と本学教育学部の学生との教育交流の中で、それぞれの学生が教育学の幅広い知識と研究方法を学びとることができるよう私共も期待しています。

また、今回の海外研修は教育の一環として実施するもので、本来ならば、学生の主体性にかなり任せたいところですが、安心・安全を期して、教員も1名(木村教授、ほかTA1名)のほか、現地のスタッフによるガイドもお願いしております。

本事業に参加する学生には学生教育研究災害傷害保険の付帯海外留学保険に加入することを義務付けております。引率する教員も万全を期して対応していく所存です。保険加入並びに保護者の承諾のない場合はタイ研修への参加はできないことになっております。

保護者の皆様のご理解とご協力の程お願い申し上げます。

謹白

九州大学教育学部
教育学部長 橋 彌 和秀

本件についての問い合わせは、以下の担当者
にお願いいたします。

九州大学教育学部
「Overseas Fieldwork in タイ」実行委員会
担当教授：木村拓也・竹熊尚夫